



◆発行日 平成24年8月15日 ◆発行 藤岡市議会 ◆編集 藤岡市議会だより編集委員会 ◆印刷 イシイ印刷株式会社
◆藤岡市ホームページ <http://www.city.fujioka.gunma.jp/>

第59号

正・副議長決まる

5月臨時会において正・副議長が決まりました。

就任にあたって

市民の皆様にご挨拶を申し上げます。市政の推進につきましては、日頃より市民の皆様方の深いご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。この度、平成24年第2回藤岡市議会臨時会におきまして、議員各位のご推挙により私どもが議長・副議長に就くことになり、その重責と使命の重大さを痛感している次第でございます。



副議長
青木 貴俊



議長
斉藤 千枝子

と気象庁から発表があったように、大雨による大災害となつてしまいました。また、5月の茨城県、栃木県で発生した竜巻による被害も甚大でした。ここ藤岡市におきましても、いつ、どのような自然災害が起こるかわかりません。藤岡市議会といたしましても、市民の安心安全に向け、市民の皆様と共に住みよい藤岡市にするため、これまで以上に頑張っていきたいと思っております。なにとぞ、市民の皆様のご指導とご支援をお願い申し上げます。就任の挨拶

6月定例会のあらまし

定例会は、6月12日から6月26日までの15日間の会期で開催されました。藤岡市暴力団排除条例の制定についてなど7議案が提出されました。

- ◆12日〓本会議 会期の決定。市長提出議案6議案を即決。
- ◆14日〓総務常任委員会、教務厚生常任委員会。
- ◆19日〓本会議 一般質問。
- ◆26日〓本会議 委員会付託議案1件を可決。



通学路の

安全対策について

渡辺新一郎

問 小学校の通学路の設定について、どの様にして決めているのか伺います。

答 通学路の設定については、交通量、信号機、横断歩道、歩道の整備状況を考慮し、安全性を最優先にしながら合理的な経路を決定しています。また、交通状況等の変化もあることから、地域の方や保護者の意見も参考にしながら、常に見直

しを行っています。

問 市内で過去5年間の登下校中の交通事故の件数について伺います。

答 平成19年度5件、平成20年度1件、平成21年度1件、平成22年度0件、平成23年度2件、過去5年間で9件です。

問 通学路の見直しの要望について伺います。

答 藤岡第二小学校、小野小学校、美土里小学校、鬼

石北小学校の4校で、通学路に歩道橋の設置や他の道を通学路にして欲しいといった要望があった。

問 あんしんの家はどの様にして決定したのか、また、年間の利用者数について伺います。

答 明るく住みよい藤岡市民運動推進協議会、藤岡市区長会、藤岡警察署、藤岡市教育委員会の4者の会議で決定しました。また、平成23年度利用者数は約300名です。

問 自主パトロール隊への補助金等について伺います。

答 藤岡市地域自主安全パトロール隊連絡協議会へ、活動費として年間60万を交付しています。

防災対策について

問 災害時の避難場所の設定について伺います。

答 各地区の区長と協議の上指定した。避難距離は概ね2km以内とし、市立小学校、公民館、その他の公

共施設、その他の公立学校、その他の民間施設の順を基本としています。

問 避難場所の見直しをすべきと思いますが伺います。

答 再検討が必要と思われる地区については、各地区の区長と協議の上で見直します。

問 他市との防災協力体制、連携について伺います。

答 高崎市との防災体制については、覚書を交わしています。

特定健康診査について

窪田 行隆

問 高崎市が特定健診の自己負担金を、今年度から無料化しました。これで県内12市のうち無料化しているのは計6市ですが、以前から実施している5市の受診率はいずれも藤岡市を上回っています。藤岡市も無料化することで受診者を増やして、将来の医療費負担を軽減するべきと考えますが伺います。

答 受診率の向上と被保険者の健康の保持や増進、疾病の早期発見による医療費の抑制を図るため、現在、自己負担金を徴収している5市の今後の意向等を調査し、本市でも検討していきたいと考えています。

道路橋梁の

維持管理について

問 東日本大震災で多数の橋が通行不能になりました。国内の橋は高度成長期に完成したものも多く、数十年

を経て老朽化が始まっています。藤岡市では長寿命化計画の策定に向けて、市で管理する道路橋梁の現状調査を行いました。市で管理する道路橋の総数と完成年度、また、調査を実施した対象とその結果について伺います。

答 藤岡市で管理する道路橋は486橋で、その内、建設年度が分かるのは103橋です。調査の対象は橋長15m以

上が47橋、重要性の高い15m未満が5橋であり、その結果は、「健全な状態」18橋、「状況に応じ補修が必要」34橋、緊急の補修が必要な橋はありませんでした。

問 市内には建設年度が不明の橋が多数あるようです。また、今回、調査しなかった橋に、老朽化したものは多数あると思われます。これらの橋についても今後調査を行い、その結果に応じて計画的な補修を行う必要があると考えますが伺います。

答 市民生活に密接な路線もあり、橋梁長寿命化修繕計画の中で維持管理方針を検討し、順次点検を行っていきたいと考えています。日常の道路パトロールでも、事故等につながる損傷個所の早期発見に努め、計画的な修繕で地域の道路網の安全性、信頼性を確保していきたい。

観光振興について

岩崎 和則

問 フジ棚、冬桜街道整備において日本一を目指すこと、伝統的な郷土芸能文化を観光文化遺産として充実していくことが特に重要であると考えますが、見解を伺いたい。

答 北関東自動車道が全線開通し、本市のアクセス条件は一層向上した。こうした地の利を活かせるよう、今後ともフジと冬桜に代表

される日本一の花の名所づくりに取り組んでいきたい。伝統芸能については、文化財であるとともに観光資源であるとも考えられる。藤岡まつりや鬼石夏祭りを始め、地域の祭りなどを観光資源として見ていただくことも、これらを守る保存会などの励みとなるので、地域コミュニティ形成にも寄与すると考えている。

問 ここ数年、ふじの咲く丘のフジの花の開花状況が悪い。地形や近年の気候の

影響等もあると思うが、今後の対策等について伺いたい。

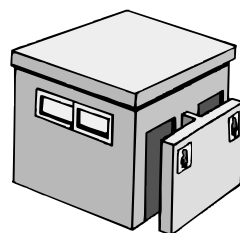
答 ふじの咲く丘については、今日までのこの施設を育てていただいた藤友会会員の皆様に長い間、献身的にフジ棚の管理をしていただいております。多くの経験と知識をお持ちであると考えられますが、さらに樹木医の診断や手入れなどの講習会等を開催することも視野に入れ、施設の状態をさらに向上させるべく努力をし

ていきたいと考えています。

問 日野地区から神流町、富岡市に抜ける街道に観光用公衆トイレが不足しており、民間事業者、営業所等の協力を要請しながら整備していくことが必要であると思うが、対策を伺いたい。

答 日野地区では蛇喰溪谷の公衆トイレのほか、土と火の里公園の駐車場にもトイレはあるが、その先には設置されていないのが現状です。トイレを設置する場

合、設置場所、駐車場所、設置後の維持管理など、山間地域では非常に難しいと考えられる。民間営業所などの協力も選択肢に入れる中で、トイレ対策に取り組んでいきたいと考えている。



水道事業について

橋本 新一

問 年々給水人口が減少しているが、最近の水道水の需給動向について伺います。

答 ここ数年の配水量からみると減少傾向になっていきます。これは口径30mm以上で使用している工場等の配水量が年々減少していることが原因の一つであると考えられる。本年4月及び5月の配水量についても対前年比で減少となっているこ

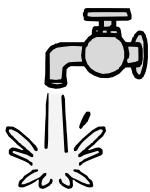
とから、さらに減少することが予想される。

問 水道水の配水量からもわかるように、給水収益は減少に転じており、営業収益減は避けられない。約15%に上る漏水の対策や給水原価の縮減が急務と考えるが、その対策について伺います。

答 漏水を減らす対策として、平成24年度から給水装置の漏水修理の公費負担の範囲を民地内メーター器

まで拡大した。これにより有収率が改善するものと考えています。また、例年実施している漏水調査は石綿管の布設替えが完了したので、今後は給水管の漏水調査を中心に実施していきたい。また、塩化ビニール製の本管が多い鬼石、浄法寺地区に重点を置いて漏水調査を実施していきたい。給水原価については増加しており、その原因としては修繕料、減価償却費、人件費の増加が主な原因となっている。このうち修繕料につ

いては、平成24年度から実施している民地内メーター器までの漏水修理を初め、中央浄水場が建築から30年を経過し、修繕を必要とする機器が増えてきているので、これからも増加していくものと考えており、給水原価は増加する傾向にあると考えられます。



東日本大震災と

福島第一原発事故の支援について

問 本市が現在行なっている被災地、被災者支援について伺います。

答 技術系職員1名の派遣や災害ボランティア団体が活動するための必要経費を支援しています。今後も、被災地、避難者のニーズに即した支援を行ってまいります。

特別支援学校について

大久保協城

問 設置に向け具体的なところか概要すら周知されていない。平成26年4月開校なら平成25年度には工事着工、今年度下期には設計と考えるが、県との協議はどうなっているか伺います。

答 平成26年4月開校を目指し進めている。測量は7月に完了予定でその後、農地転用、開発行為等の諸手続きを行った後、建設計画について協議を行う。

問 地元関係者への説明はどの様になつているか伺います。

答 地権者並びに関係者説明会を4月21日に開催し、同意も得られている。地元説明会は6月26日に開催予定です。

問 学校建設について施設設備がどのようなものであるか分からなければ就学指導を受ける側も不安と思うが伺います。

答 県が事業主であり、県

の考え方で整備されることを考えるが、子どもたちや保護者の期待に添えるよう、要望等については、県と協議を重ねていきたい。

問 県の施設で市は知らないということではないはず、むしろこれからが大切な時期を迎える。第2次藤岡市障害者計画にあるように障害のある子どもが自立し、社会参加できる力を育成するには、地域として、市が県の施設に関与していく事が大切であり、障害を持たれた子どもや保護者に対して、セクター的な役割も果

たしていく施設になるべきと考えるが伺います。

答 県は、地域の特別支援教育の拠点、センターとしての役割を担うということを求めている。障害を持つ子どもたちにとって学びやすく、保護者にとっても相談、交流ができるような施設になるよう要望していきたいと考えている。

問 スクールバスの運行や給食の対応、また、医療行為のできるスタッフの配置について伺います。

答 スクールバスは必要と考える要望していく。給食は、普通食、流動食等対応がさまざまなことから、今後詳細な協議が必要と考える。また、医療スタッフは、充実するよう要望していきたい。

問 就学指導についての考えを伺います。

答 専門家19人で構成する就学指導委員会を設置し、相談指導している。また、特別支援学校に対する保護者の要望等にも耳を傾け、集約し、県に伝えて行きたい。

藤岡市公の施設に係る指定管理者制定について

高桑 藤雄

問 藤岡市公の施設に係る指定管理者の指定の手續等に関する条例によって、幾つの施設が指定管理されているか、観光関連の施設はどんな施設があるのか、また、指定管理者の募集は各施設で何件の申請があったか伺います。

答 現在、43の施設に指定管理者を指定しています。

そのうち観光関連の施設については、らん藤岡、土と火の里公園、桜山温泉センターなどがあります。募集については非公募としていますので、各施設とも申請団体は、1団体となっています。

問 土と火の里公園の指定管理者の選定は非公募により選定したとのことだが、どのような理由で選定したのか、事業計画書の内容等も調査して選定したのか伺います。

答 本施設は陶芸、染色、ガラス、竹細工等の工芸体験施設で、専門的技術を必要とする特殊な施設であることから非公募としました。土と火の里工芸会を選定した理由は、経験が蓄積されていますので優位性を有していることから選定しました。

問 土と火の里公園で管理されている別館の管理運営について伺います。

答 西別館が旧日野西小学

校、東別館が旧日野中央小学校です。西別館では、水質検査を毎月1回実施、共通業務として、家用電気工作物の点検を2ヶ月に1回実施、また、施設使用申請受け付け及び許可事務を行っています。

問 6月17日に日野ホタル祭の準備をしていたところ、水の問題で、全点解決するまでは、水の使用は全面的に禁止ということですが、23日のホタル祭に使えるようお願いします。

答 現在、市の商工観光課の職員が月曜日から毎日、塩素滅菌ということで23日まで水質試験を行っており、何とか使えるよう努力していきたいと思えます。

問 土と火の里公園は、地域の方々との連携が少なく、日野・高山地区の振興に役立っていないと感じます。今後の改善について伺います。

答 地域と連携した地域振興に今後も取り組んでいきたい。

八高線と 市内路線バスについて

茂木 光雄

問 東武東上線のJR八高線への乗り入れと市内路線バスの連携について伺います。

答 東武東上線のJR八高線への乗り入れについては、八高線沿線17市町で構成する八高線電車化促進期成同盟会での要望活動を中心に進めているが、八高線が高麗川駅以北で電車化され

ていないことや投資費用の問題等で進展していない。今後もJRや東武鉄道に足を運び、実現に向け粘り強く働きかけていく。市内路線バスについては、平成24年10月1日より見直し、運行を行う。市内循環線の見直しでは現在の北周りと南周りの2系統は廃止し、新たに1系統、交互運行とし、車両は小型バスを廃止し、10人乗りの乗合いタクシー2台を導入。1系統2台で群馬藤岡駅を起点として30分間で運行するので、

JR八高線との接続も効率化が図れることとなる。三ツ木高山線、藤岡上平線については、JR八高線と可能な限りダイヤ調整する。



高山社跡と 養蚕啓発活動について

問 高山社跡の世界文化遺産登録の予定と養蚕について

て伺います。

答 富岡製糸場と絹産業遺産群の世界遺産登録は、高山社跡を含む4資産で構成されており、7月頃の世界遺産特別委員会を経て、8月頃の世界遺産条約関係省庁連絡会議で国の推薦決定を受けたとのこと。国の推薦が決定されるとユネスコに申請し、11月頃にユネスコから暫定版について回答が出ます。登録の可否はユネスコの国際記念物遺跡会議の専門委員が平

成25年夏頃から現地調査に訪れ、平成26年6、7月頃の世界遺産委員会で登録決定となる予定です。本市の養蚕農家は7戸と激減しており、養蚕技術をどのようにに伝承していくか課題はありますが、養蚕指導員については現時点においては考えていない。高山社跡で養蚕の実演を行うことは、来場者に養蚕をわかりやすく展示する良い方法であり、何らかのかたちで実演展示ができれば良いと考えています。

企業誘致の 現状について

渡辺 徳治

問 工業団地造成数と造成費用について、また、本動堂第1期・第2期工事、西部工業団地第2期工事、北部工業団地造成に伴う周辺道路整備事業と三本木工業団地造成に伴う周辺道路整備事業の整備費について、その他現在分譲中の団地はいくつあるのか伺います。

答 過去に土地開発公社が

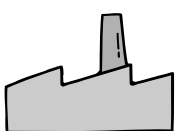
造成した工業団地は4つあり、本動堂工業団地第1期7億8181万6706円、第2期10億265万9787円、西部工業団地第2期2億8072万5131円、北部工業団地5億6738万9153円、三本木工業団地周辺道路、用水路、文化財発掘で、今のところ5億7800万円です。また、工業団地の周辺整備については、工業団地の整備と道路の整備は目的を異にするところがありますが、本動堂工業団地第1期・第

2期、西部工業団地第2期及び北部工業団地は、地域振興を目的とした都市計画道路に合わせて開発された工業団地です。三本木工業団地については、団地造成と周辺道路整備事業を並行して行いました。これらの工事は、地方自治法第244条の公の施設である道路や用水路の新設工事であることなどから、いずれも住民の福祉の増進及び文化的向上に資するものとして公共性が高いため、藤岡市がこれらの工事に係る費用

を一般会計から支出しています。現在分譲中の工業団地は、北部工業団地の2区画と昨年7月から分譲を開始した三本木工業団地の5区画です。

一致があると思うが伺います。

答 群馬県企業局の新規工業団地の造成基本方針の採算性の確保の中で、採算性が低い場合には、地元市町村、関係機関の協力を得て採算を確保するという方針もあり、これにならない、行ったものです。



公立藤岡総合病院の
統合について

佐藤 淳

問 平成14年に市を二分する議論の末、入院病棟と外来病棟が1・数キロメートル離れているという自治体病院では例がない現在の形になり、早10年が経過しました。近い将来、確実に訪れる高齢化社会に、地域の中核病院としての使命、あるいは機能を果たすためのあるべき姿について、藤岡市の考え方を伺います。

答 地域住民が安心して医療を受けられる中核病院として、今後も存続していかなくてはなりません。藤岡市においても、病院を支えるという意味で、当然連携を図り、支援をしていく必要があると考えています。

問 病院が統合に向けて2000万円の予算を付けましたが、コンサルタント会社に対して、管理者として市長はどのような指示をしたのか伺います。

たのか伺います。

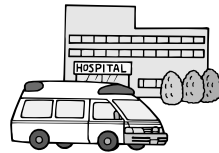
答 今の図面を作る段階では、病院長のほうで指示をしています。ただ、病床数とかについては相談を受けていますが、どういう建物を造るかという件については、まだ具体的な相談にも来ていません。

問 私は過度に豪華な病院を作る必要はないと思います。耐震機能などが、1床当たりのスペースがきちんと確保されているとか、プライバシーが確保されているなど、患者本位の病棟を造っていただきたいと思うが伺います。

答 7月に入れば、ある程度の青写真ができると聞いていますので、そのような病院を造っていききたいと思っています。

問 病院が、ある意味で統合に向けて、2000万円の予算付けをしました。これは、統合に向けてスタートを切ったという認識でよろしいか伺います。

答 私もその予算を作る時に、言葉としてこれは適切でないという指摘はしましたが、コンサルタントに出すことについては了承しました。それはそういう方向に向かって動いていくという意志だと私も考えています。



◎掲載してある一般質問は要約してありますので、詳しくは藤岡市のホームページや図書館・市役所相談室で会議録(9月上旬公開予定)をご覧ください。

◆ 藤岡市ホームページ <http://www.city.fujioka.gunma.jp/>

市議会を傍聴しよう

議会は3・6・9・12月の定例会と随時の臨時会が開かれます。

傍聴希望者は、市役所2階議会事務局前の傍聴人受付へ申し込んでください。

問い合わせ 市議会事務局 (☎ 22) 1211 内線2361)

議会改革の取り組み

藤岡市議会では、10人の議員で構成する議会改革検討委員会を平成23年8月2日に設置し、議会改革に取り組んでいます。

この検討委員会は、これまでに会議を12回開催し、協議した改革事項について全員協議会で承認されましたので、主なものを報告いたします。

また、平成24年4月13日には、議会改革検討委員会の下部組織として、6名の議員による議会基本条例策定作業部会を設置し、議会基本条例の制定に向け検討しています。

● 議会基本条例の制定について

議会基本条例策定作業部会を設置し検討しています。

※ 議会基本条例とは、議会のあり方を市民に対して宣言するもので、議会の「最高規範」といえるものです。

● 陳情における市民の提案説明

陳情の委員会審査の開会前に、説明を希望する市民に限り、代表者1人が10分以内で陳情の提案説明を行うことができます。

※ 陳情は、議会に対する住民の要望であり、どなたでも提出できます。また、紹介議員がいる場合は請願となりますが、請願の場合、市民の提案説明はできません。

● 市長等の反問

一般質問に限り市長等の反問ができるように、議会基本条例において規定することを検討しています。

※ 市長等の反問とは、市長ほか市の職員が、議長の許可により議員の質問に対して論点や争点を明確にするため、反問することができます。

● 議会中継

議員が本会議場で、市政全般について質問する一般質問に限り、議会中継（インターネットによる録画配信）を始めます。（平成25年度導入予定）

● 質疑回数増加

市長提出議案に対する議員の質問回数を3回から5回に増やします。

（平成24年5月25日に議決され、平成24年6月1日から施行済み。）

※ 質疑とは、市長に対して、議案の内容や提案理由などについて、疑問点や不明点を問うことです。

● 一般質問における1問1答制

一般質問における「一般質問通告書」の質問の件名において、1問1答制方式とします。

※ 一般質問とは、議員が本会議場で、市政全般について質問することです。

※ 一般質問通告書とは、質問する事項をあらかじめ議長に告げ、知らせる文書です。



議案等審議結果＜5月臨時会＞

番 号	件 名	結 果
市長提出議案		
報告4号 報告5号 報告6号	専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて） 専決処分の承認を求めることについて（藤岡市税条例の一部を改正する条例） 専決処分の承認を求めることについて（藤岡市都市計画税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例）	報告 承認（全員一致） 承認（多数）
報告7号 報告8号 報告9号 報告10号 第51号	専決処分の承認を求めることについて（藤岡市国民健康保険税条例の一部を改正する条例） 専決処分の承認を求めることについて（平成23年度藤岡市一般会計補正予算（第5号）） 専決処分の承認を求めることについて（平成23年度藤岡市下水道事業特別会計補正予算（第4号）） 専決処分の承認を求めることについて（平成24年度藤岡市一般会計補正予算（第1号）） 工事請負契約の締結について	承認（全員一致） 承認（全員一致） 承認（全員一致） 承認（多数） 可決（多数）
議員提出議案		
第3号	藤岡市議会会議規則の一部改正について	可決（全員一致）
選挙、選任		
第1号 第2号	議長の選挙 副議長の選挙 議会運営委員会委員の補欠選任 議会運営委員会委員長の互選 三本木工業団地違法支出返還等請求事件の原告団の中に市議会議員が署名している件につき調査特別委員会委員の補欠選任	当選 当選 選任 当選 選任

議案等審議結果＜6月定例会＞

番 号	件 名	結 果
市長提出議案		
報告11号 報告12号 報告13号 第52号 第53号 第54号	平成23年度藤岡市一般会計予算繰越明許費繰越計算書について 平成23年度藤岡市一般会計予算事故繰越し繰越計算書について 平成23年度藤岡市下水道事業特別会計予算繰越明許費繰越計算書について 監査委員の選任について 藤岡市暴力団排除条例の制定について 改正住民基本台帳法の施行及び外国人登録法の廃止に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	報告 報告 報告 同意（全員一致） 可決（全員一致） 可決（全員一致）
第55号 第56号 第57号 第58号	藤岡市市営住宅設置条例の一部改正について 群馬県後期高齢者医療広域連合の規約変更に関する協議について 市道路線の廃止について 市道路線の認定について	可決（全員一致） 可決（全員一致） 可決（全員一致） 可決（全員一致）
選挙、推薦		
第3号 第4号 第5号	藤岡市農業委員会委員の推薦について 多野藤岡医療事務市町村組合議会議員の補欠選挙 多野藤岡広域市町村圏振興整備組合議会議員の補欠選挙 群馬県後期高齢者医療広域連合議会議員の補欠選挙	推薦 当選 当選 当選
請 願		
第2号 第3号	消費税増税に反対する意見書の提出を求める請願 原子力発電を順次廃止し再生可能な自然エネルギーへの転換を求める国への意見書の提出を求め	不採択（少数） 趣旨採択（多数）

編集後記

鬼石夏祭り、藤岡まつりと、今年も夏の夜を彩り、目を閉じると、また、勇壮なお囃子の笛太鼓が聞こえてきそうです。平成24年第3回市議会定例会において、平成23年度一般会計予算繰越明許費繰越計算書等報告3件のほか、藤岡市暴力団排除条例の制定について、委員会の審査報告があり、可決されました。また、一般質問では9名の議員から通告があり、質問を行いました。藤岡市議会では市民の皆様により議会を身近に感じていただけるよう議会改革検討委員会を設置し、取り組んでいるところです。今後ともよろしく願っています。

委 員	委 員	委 員	委 員	委 員	副 委 員 長	委 員 長
吉 田 達 哉	隅 田 川 一	反 田 清	佐 藤 淳	岩 崎 和 則	渡 辺 新 治	山 田 朱 美